



## ふいかえいを大切に！ 一次につなげるために

第1回定期試験が終了してから一週間以上が過ぎました。

まず、みなさんへ質問です。

- ・試験直後の週末(5月23日)から試験返却までの期間、あなたはどのように試験を振り返りましたか。ー自己チェックをしてみましたか。
- ・答案はほぼすべて返却されたものと思われませんが、あなたの結果はどうでしたか。ー努力の結果が表れていましたか。
- ・その試験結果は、今のあなたの学習にどのように活かされていますか。

## ポジティブ思考と未来思考

学年が変わり、教科担当が変わっての初めての試験結果は、違う意味でも大切だと思われます。それは自分の「イメージ」です。決して先生から見られるイメージのことではありません。自己イメージをあなたはどのように描いていますか。良い結果を出した者も、そうではない者も、その結果にあまりに一喜一憂しないことが大事です。焦点を常に「未来」に向けることです。過去の点数に左右され過ぎると自分で自分の値踏みをしてしまいがちです。自分に対してマイナスイメージを持たないようにして欲しいものです。大切なのは、常に『次はどうしたらよいか』と考える習慣です。

# ～数学の勉強法～

## ∫ 数学は「実技科目」である ∫

まず理解してほしいのは、

数学は教科書を「読むだけ」では絶対に点数が伸びない

ということです。教科書を読むことで用語の意味や解き方を理解することはできるでしょう。しかし、その解き方を自分の手で再現し、正解に辿り着くことができなければ、試験では点数になりません。数学は用語や解き方を覚える必要があるという意味では「暗記科目」ですが、それと同時に、理解した解法を駆使して正解を導く力を要する「実技科目」であることを意識してもらいたいです。

「実技科目」ということは、実技の練習が欠かせません。部活をやっている生徒ならわかると思いますが、技術を身につけるためには練習を繰り返すことが必要です。数学でいえば問題を解くことが練習にあたります。数学で点が取れない生徒は、圧倒的にこの練習量が足りません。点数を上げたければもっと練習が必要です。

## ∫ 最低限、例題を理解し自分で解けるように！ ∫

## ∫ 反復練習は必須！ ∫

では数学の練習はどのように行えば良いのか？数学の教科書や問題集は、中学、高校共に、1つの学習内容について「説明→例題→練習問題」の流れで本文が構成されています。自分で勉強する際は、以下の2点を心がけましょう。

- (1) 例題を読んで自分でも解いてみる。どうしても例題が理解できない、自分で解けない場合は、友達、先生に教えてもらい、理解し解けるようにする。例題が解けないようだと練習問題は解けません。つまり、練習もできません。
- (2) 練習問題に取り組む際、解き方がわからなかった問題、解き方はわかっていたがミスをした問題、時間がかかった問題は、後日必ず解きなおす。楽に解けるまで何度でも。

数学で点が伸びない人、苦手な人は、(1)が疎かなまま練習問題に取り組もうとして行き詰まるケースが多いです。(1)をしっかりクリアした上で練習問題をこなしましょう。そして自分で勉強する上で(2)は最重要です。苦戦した問題は、次に解く際も苦戦することが多いです。何回も解く、練習することでそれを克服できます。地道な作業ですが、それができるかどうかは数学の力を伸ばせるかどうかに関がります。数学の点数が上がらない、上げたい生徒は、一度上記の件を注意して勉強に取り組んでみてはいかがでしょうか。



5月号で掲載した以下の英文の日本語訳です。あなたはどのように解釈しましたか。以下は、その訳例です。

She always looked, but never really was, happy.

<訳例>彼女はいつも幸福そうに見えたが、実は決して幸福ではなかった。

《高校生へ》

## 志望校別の勉強時間の割合(目安)

		英	数	国	理	社
志望校	私立 文系	5	0	3	0	2
	私立 理系	3	4	0	3	0
	国公立 文系	3	2	2	1	2
	国公立 理系	2	3	1	3	1

<改訂版 E 判定からの大逆転勉強法より>

※この表の割合はあくまでも目安です。毎日、絶対にこの割合に従わなくてはならないわけではありませんが、一週間の勉強時間を足し合わせたときに、各教科の勉強時間の割合が、およそこの表のようなバランスになっていれば大丈夫です。そうでなければ今日からスケジュールの立て直しが必要でしょう。

## コミュニケーション力と小論文

定期試験直後の5月23日(土)、高3生の6名が「基礎小論文模試」を受験しました。対象は高3生となっていますが、小論文を書く力は高校3年生になっての一年間で鍛えられるものではありません。さらに小論文が自分には必要ないという考え方も正しいとは言えません。

文章を書く力(小論文学習)は、コミュニケーション力と深くかかわりがあ

り、進学先や就職先で役立つと答える先輩が多いということも心に留めておく必要があります。

以下は、よく取り上げられる小論文課題と関連テーマです。

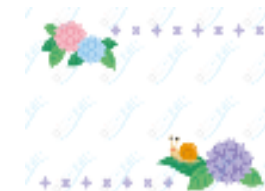
番号	課題	関連するテーマ
①	教育・保育系統	教育、福祉、国際理解、情報社会、文化論
②	看護・医療技術系統	医療・看護、福祉、科学・技術
③	人文科学系統	文化論、教育、国際理解、情報社会、環境、教育、福祉
④	社会科学系統	政治・経済、国際理解、情報社会、環境、教育、福祉
⑤	自然科学系統	科学・技術、環境、医療・看護、情報社会、福祉
⑥	自己アピール	志望理由、志望動機
⑦	志望動機	志望理由、志望動機

さて、この進路通信誌上で次回から以下のテーマと一緒に考えてみましょう。

考えてみよう！国際理解の？

## 次号 テーマ1

## 異文化って本当に理解しあえるの？



次号予告 1. 国語の勉強法 掲載予定です。



教室にある『蛍雪時代』を読んでいますか